

学び舎の思い出 いつまでも

虎杖中学校卒業生の皆さん

2月23日 「懐かしい母校で久しぶりに再会しませんか？」



ナチュラルサイエンスが旧虎杖中校舎をリノベーションし、昨年12月にオープンした自然と科学のミュージアム「森の工舎」。同中出身の社員の一人、五十嵐知恵さんは、地域住民の心に残るかつての姿をできるだけ残しながら親子で楽しめる文化拠点を創ろう、という同社の方針に共鳴。「校舎がそのまま残り、さらにこんなに素晴らしくなるなんて」と、スタッフらで『「森の工舎」虎杖中卒業生ご招待企画』を立案。会社の快諾、全面協力もあり、実行委（五十嵐さん、平館武さん、森誠一さん、蒲原亮平さんら）を組織、実現にこぎつけました。

「2階教室はギャラリーに、図書室はラボに、校長室と保健室はおしゃれなカフェに…と、『私たちのあの学校がこんなにすてきに!?!』と、卒業生としては少し照れくさい、そんな施設になりました。懐かしい学校で会えるのを楽しみにしています」と、参加を呼び掛けています。

日時 2月23日（木曜・祝日） 10時～16時（①10時～11時30分②11時30分～13時③13時～14時30分④14時30分～16時の中から選んでください）

対象 卒業、通学した1973年～1999年生まれの方 ※森の工舎入館無料、ドリンク1杯無料

申し込み 右二次元コードから

イベント 思い出写真パネル展、メッセージボードや寄せ書きコーナー、教室での記念撮影など。問い合わせはナチュの森（☎0144-84-1272）の五十嵐さんへ。



旧白老小学校校舎の絵画寄贈

東町の浦木さん 校舎を取り巻く樹木の古さを際立たせ

旧白老小1期生で最後のPTA会長を務めた浦木嘉男さん(79)が、役場庁舎裏にある旧校舎を描いた絵画を現在の白老小（旧緑丘小校舎）に寄贈しました。

絵画は縦104センチ、横135センチでパソコンの専用ソフトを使った作品。絵画歴が長く、白老美術協会会員の浦木さんは、平成28年4月の白老小、緑丘小、社台小の3校統合をきっかけに、「旧校舎がなくなる前に絵に残しておこう。絵を見て自分の住む町、学校の歴史に思いをはせてほしい」と、約2年をかけ制作しました。

パソコンソフトといえども全て手書き、絵の具の調合と緻密な作業。「校舎の周りがあった古い樹木を記憶にとどめたかった」と、校舎を背景に朝日に照らされる正門付近の木々の紅葉を一枚一枚繊細なタッチで表現した力作です。

絵画は現白老小内の踊り場に設置され、児童会長の山田龍海君(12)が「こんなに古い木があったんだと驚きました。この学校の大切なものとして保存したい」と絵画のタイトルプレートを受け取っていました。（12月20日）

